

WEEKLY SIGNAL

平成31年2月8日(金) 1461号  
上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	2/11(月)	2/12(火)	2/13(水)	2/14(木)	2/15(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券		+ 500	ト ン	ト ン	△ 1,000
財政他		△ 1,500	△ 2,000	△ 27,000	+ 85,000
資金需給		△ 1,000	△ 2,000	△ 27,000	+ 84,000
主な要因		国庫短期証券発行・償還 (3M・6M)	交付税特会借入・償還	源泉税揚げ 国債発行(5Y)	年金定時払い 国債償還(2Y)
オペ期日		共通担保(全店) △ 7,000 CP等買入 △ 200 補充供給 + 100			
オペスタート	祝日	国債買入 + 12,100 共通担保(全店) + 3,300 ETF買入 + 200			
(日本)		工作機械受注(1月)	企業物価指数(1月) 営業毎旬報告 (2月10日現在)	GDP(10~12月速報)	
(海外)	ユーロ圏 財務相会合 (ユーログループ)	米 クラブブランド連銀総裁講演 米 カンザンシティ連銀総裁講演 欧 EU財務相理事会	米 クラブブランド連銀総裁講演 米 アトランタ連銀総裁講演 米 CPI(1月) 米 財政収支(12月) ユーロ圏 鉱工業生産(12月)	米 小売売上高(12月) 米 新規失業保険申請件数 (2月9日終了週) ユーロ圏 GDP(4Q)	米 アトランタ連銀総裁講演 米 輸入物価指数(1月) 米 ミシガン大学消費者マインド指数 (2月、速報値)

**【インターバンク市場】**

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.050
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.060
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

**<インターバンク>**

日銀当座預金残高は週初、税・保険料揚げ等の財政要因により前週末比7兆6,500億円減少の378兆3,100億円から始まった。その後は概ね横ばい圏で推移し、376兆9,300億円を越えた。

無担保コールON物は、先週の地合から一転し、週初から週末にかけて堅調な地合で推移した。同加重平均金利は4日の△0.061%から上昇基調を辿り、週末8日には△0.047%となった。ターム物は、1~2W物を中心に△0.04~△0.02%での出合が見られた。

2月5日に実施された国庫短期証券買入オペのオファー額は2,500億円と、前回オファー分(1月29日、オファー額2,500億円、応札倍率5.02倍)と横ばいだった。応札倍率は4.47倍となり、前回対比で低下する結果となった。

来週の主な予定は、10~12月のGDP速報(14日)、海外ではユーロ圏財務相会合(11日)、米CPI(13日)がある。

**【オープン市場】**

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.30 ~ △0.20
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

**<C P>**

今週の入札発行総額は約5,000億円で、週間償還額(約5,700億円)に対し償還超となった。発行市場は大型案件があったものの、発行社数が少なくやや閑散なマーケットであった。市場残高は21兆円台前半で推移しているが、発行が減少方向にあり、中旬以降は21兆円を割り込むと思われる。発行レートは、投資家の強い運用ニーズは変わらず0%のレンジとなっている。5日にオファーされたCP等買入オペは、予定通り2,000億円で実施された。発行残高が高水準で推移している事を背景に、按分レートは△0.001%と前回比横這いとなった。

来週の償還総額(2/12~2/15)は、8,400億円程度となっている。発行市場は、一般事業法人の継続案件がやや減少すると思われ、償還超が予想される。発行レートは、期内物では0%近辺での出合で、期越物では0%からマイナスレートでの出合となろう。CP等買入オペが、13日に2,000億円程度でオファーされる予定。

**<TDB>**

7日入札の6M812回債は最高落札レート△0.1943%(前回債△0.1410%)、平均落札レート△0.2043%(同△0.1410%)と前回債から利回りが大きく低下。一方、この所深いマイナス圏で推移していた3M物の需要はやや一服し、8日入札の3M813回債は最高落札レート△0.2012%(前回債△0.2307%)、平均落札レート△0.2158%(同△0.2653%)と、マイナス幅を縮小している。週末のセカンダリー市場は概ね入札水準での推移。新発3M物は△0.23~△0.22%程度、6M物は△0.205%程度の出合であった。

来週は715日に3Mの入札が予定されている。

**<レポ>**

銘柄先決めGC取引は週初△0.095%~△0.10%から始まった。6日受渡しの後場△0.08%台まで上昇し、週後半にかけて△0.08%~△0.09%で推移。12日受渡しは△0.09%~△0.095%に低下した。SC取引では10年351回債のbidが多く、週前半は△0.10%台前半。8日受渡し以降は△0.10%台後半~△0.20%近辺の出合が見られた。10年353回債は、入札日前日△0.10%台半ばで一部取引された。他2年394・395・396・397回債、5年135・136・137・138回債、10年336・337・338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・352回債、20年164・165・166・167回債、30年59・60・61回債、40年10・11回債などに引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。